

田辺城まつり

籠城戦など“戦国絵巻き”

～まちをあげて熱く開催～



5月27日 明倫小5年生が「田辺城籠城の一席」を披露

26回目になる「まいづる細川幽斎田辺城まつり」が、去る5月27日と28日に舞鶴公園一帯で行われました。地域の方々がまつりに寄せる熱意と2万5千人のにぎわいが交わり、「まちの歴史を実感できる素晴らしい催し」と多くの賛辞が届けられました。

前夜祭は、27日の夕刻から始まり、踊り団体のほか、幼稚園児や小学生も参加し行われました。特設の舞台上、初代城主の細川幽斎公にちなんだ“歌舞伎炎の舞”でまつりが始まりました。

田辺城まつりの主題であり、「関ヶ原の戦い」の前哨戦として歴史上も名高い「田辺籠城戦」について、明倫小学校5年生が講談“田辺城籠城の一席”として披露。小学生のはつらつとした声とテンポの良い展開が、日頃のしっかりとした練習ぶりをうかがわせ、心に響く講談として多くの観客を魅了していました。

また、園内には市内の幼稚園・保育園の幼児の手による450もの絵灯籠が、夜のとば

りをほのかに照らし、幽玄の世界を醸し出していました。

まつりの本日となった28日は、晴天にも恵まれ、開始前から多くの観客が城門前に集まるなど終日大にぎわいとなりました。

田辺城まつり恒例の籠城戦にまつわる“古今伝授”の芝居をはじめ、武者・藩士の登城や細川忠興公の関東出兵のほか、芸屋台での子供歌舞伎、蒲江地区に伝わる“振物・踊り太鼓”などが次々と繰り広げられる中、大勢の人々の笑顔の輪が広がっていました。

また、地域を盛り上げようと、各自治会からは子供も大人も積極的に参加されるとともに、今年も海上自衛隊、海上保安学校の皆さんも芝居や武者行列に加われ、まちのにぎわいづくりに協力いただきました。

なお、舞鶴商工会議所は、今年も実行委員会に参画し準備から実施、後片付けまで、皆さんとともに取り組んでいます。(1面に関連写真)



5月27日 絵灯籠と田辺城城門



5月28日 和太鼓でまつりを盛り上げる